

保護者 様

福山暁の星女子中学・高等学校
校長 小野田 文明

学校において予防すべき感染症に関する出席停止について

学校において予防すべき感染症にお嬢様がかかれた場合、医療機関で受診し、医師が登校に支障がないと認めるまで登校せずに療養してください（学校保健安全法第19条）。

病気が治って登校する際には、別紙「証明書」に医師の証明をもらい、担任にお届けください。

【(参考) 学校において予防すべき感染症と出席停止期間】

(学校保健安全法施行規則第18条・19条)

| | 感染症名 | 出席停止期間 |
|-----|--|-----------------------------------|
| 第一種 | エボラ出血熱、クリミア・コンゴ熱、痘そう、ペスト、南米出血熱、ラッサ熱、マールブルグ病、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(SARS)、鳥インフルエンザ(H5N1) | 治癒するまで |
| 第二種 | インフルエンザ(H5N1を除く) | 解熱をした後2日を経過するまで |
| | 百日咳 | 特有の咳が消失するまで |
| | 麻疹(はしか) | 解熱をした後3日を経過するまで |
| | 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) | 耳下腺の腫脹が消失するまで |
| | 風しん(三日はしか) | 発しんが消失するまで |
| | 水痘(みずぼうそう) | すべての発しんが痂皮化するまで |
| | 咽頭性結膜熱(プール熱) | 主要症状が消失した後2日を経過するまで |
| | 結核 | 症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで |
| | ※ 出席停止期間は、上記の基準が定められていますが、病状により学校医またはその他の医師において感染のおそれがないと認めたときはその限りではありません。 | |
| 第三種 | コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症 | 学校医もしくはその他の医師において感染のおそれがないと認めるまで |